

第 10 回日本脳トック学会総会

*The 10th Annual Meeting of Japanese Society
for
the Detection of Asymptomatic Brain Disease*

プログラム・抄録集



会長 斎藤 勇
(杏林大学医学部脳神経外科)

2001年6月22日(金)・23日(土)
京王プラザホテル(新宿)

第10回日本脳ドック学会総会

*The 10th Annual Meeting of Japanese Society
for
the Detection of Asymptomatic Brain Disease*

プログラム・抄録集

会長 齋藤 勇

(杏林大学医学部脳神経外科)

2001年6月22日(金)・23日(土)

京王プラザホテル(新宿)

名誉会員

大友 英一 戸谷 重雄 松本 圭蔵 丸山 勝一

評議員

朝倉 哲彦	伊藤建次郎	伊藤 守	入野 忠芳	内山真一郎
太田 富雄	大本 堯史	岡田 慶一	小川 彰	奥寺 利男
片山 泰朗	河本 斌	神野 哲夫	桐野 高明	黒川 泰
児玉南海雄	小林 祥泰	齋藤 勇	斉藤 孝次	坂井 昇
櫻井恒太郎	澤田 徹	篠原 幸人	島 健	島本 和明
高木 繁治	高倉 公朋	武田利兵衛	館野 之男	田中 隆一
田邊 純嘉	赫 彰郎	土井 章弘	東儀 英夫	中川 俊男
中島 健二	永積 惇	貫井 英明	端 和夫	橋本 信夫
畑中 光昭	早川 徹	福井 仁士	藤島 正敏	藤原 悟
松谷 雅生	松本 昌泰	宮坂 和男	村上 博彦	山口 武典
	吉峰 俊樹	吉本 高志	渡辺 一夫	

(50音順 敬称略)

総会事務局

期間中：京王プラザホテル
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-2-1
TEL：03-3344-0111 (代表)

期間前：杏林大学医学部脳神経外科
〒181-8611 三鷹市新川6-20-2
TEL：0422-47-5511 (内線2883)
FAX：0422-43-4715
e-mail：braindock-meet@umin.ac.jp
<http://square.umin.ac.jp/braindock2001>

総会準備委員

塩川芳昭	小西善史	永根基雄	中村正直	富田泰彦	栗田浩樹
藤塚光幸	野口明男	日野健	田中奈保子	宇都宮利史	小林啓一
脊山英徳	山口竜一	池田俊貴	佐々木季子	飯野奈央子	

本学会は日本脳神経財団の援助を受けました

ご挨拶

本学会は「脳に疾患が在りながら未だに症状を呈しない内にその病変を如何に正しく発見し、対応すべきか」をテーマに 1992 年に創立され、今回で第 10 回目を迎えるに至りました。この間、非侵襲的診断機器、特に MRI、MRA、あるいは、超音波検査、脳循環測定装置などの飛躍的な発展があり、未破裂脳動脈瘤、無症候性脳梗塞、無症候性脳腫瘍、あるいは、高次機能のチェックによる前痴呆状態など多数の疾患が発見され、発症前の適切な処理により、多くの国民の健康が守られて参りました。しかし、脳ドックそのもののあり方、脳ドック受診後の指導と follow-up、受診前後のインフォームドコンセント、等問題点も少なからず指摘されております。

一方、発見された未破裂脳動脈瘤の破裂率に関して、1998 年の New England Journal of Medicine に、10mm 以下の大きさのものは 0.05%/年という発表がなされ、どの様な未破裂脳動脈瘤をいかに(手術か、コイル塞栓術か)処理すべきか、あるいは経過観察にすべきか、という大きな課題にも直面しているのが現状であります。

このような背景の下に、第 10 回目を迎える 21 世紀最初の本学会では、この無症候性未破裂脳動脈瘤をメインテーマに取り上げ、幾つかのシンポジウムを企画しました。

計 70 題を越える演題の応募を頂きましたが、初めに予定しましたシンポジウム、1)無症候性動脈瘤の手術適応は変わったか、2)無症候性脳動脈瘤とインフォームドコンセント、3)無症候性脳動脈瘤の治療、特に技術的側面、及び、4)脳ドック受診後のライフスタイルの指導、等の他に、5)診断法の工夫、6)無症候性脳梗塞の follow-up と予後、そして、7)脳ドックのあるべき姿、などを新たに加え、シンポジウム中心のプログラムを組ませて頂きました。

招待講演には、Cincinnati 大学脳神経外科 (Chairman : Prof. Tew) の Zuccarello 教授に N Eng J Med の論文以降の米国での未破裂脳動脈瘤への対応が変わったのか否か、を中心に同大学で開発中の術中 Open MRI の有用性にも触れて頂く予定です。特別講演には、医療倫理、あるいは、東洋哲学にも御造詣の深い大阪医科大名誉教授の太田富雄先生に、「日本人の死生観と脳ドック」というテーマで講演をお願い致しました。

プログラムが脳神経外科に偏らない様に、神経内科、放射線科など、脳ドックに携わる先生方に広く御参加いただける様に配慮した所存でございます。

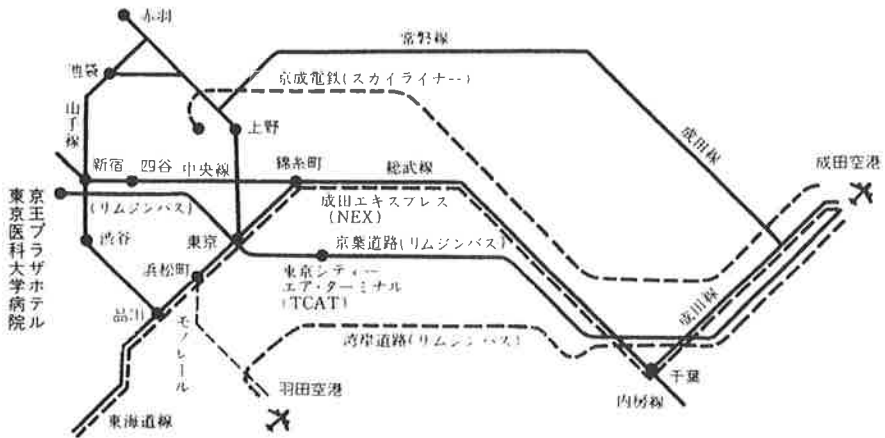
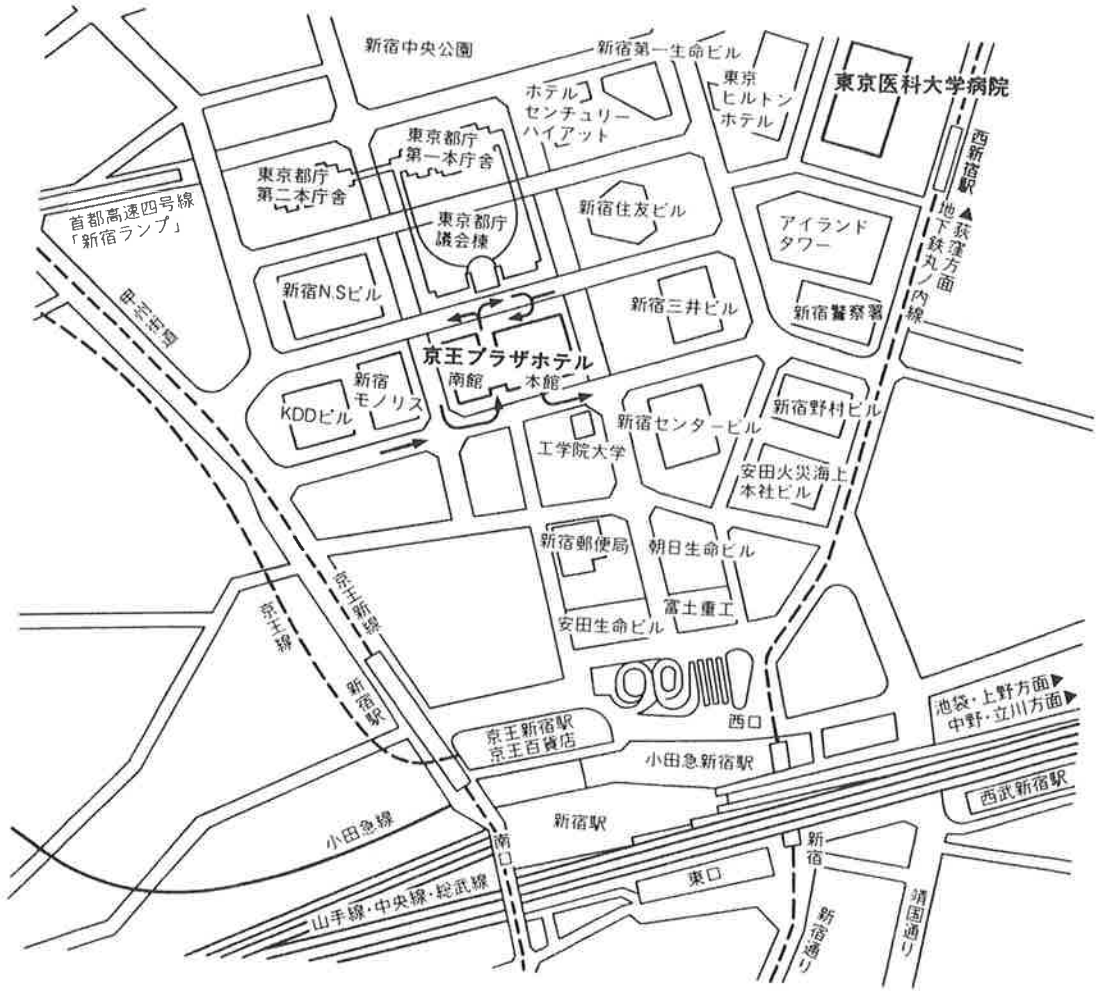
金曜日(6月22日)の午後からの土曜日の午後までという変則的な開催となりましたが、多くの先生方、脳ドックに携わる方々の御参加を頂き、活発な討論を通じて今後の診療にお役に立てる会になる事を期待しております。

平成 13 年 5 月

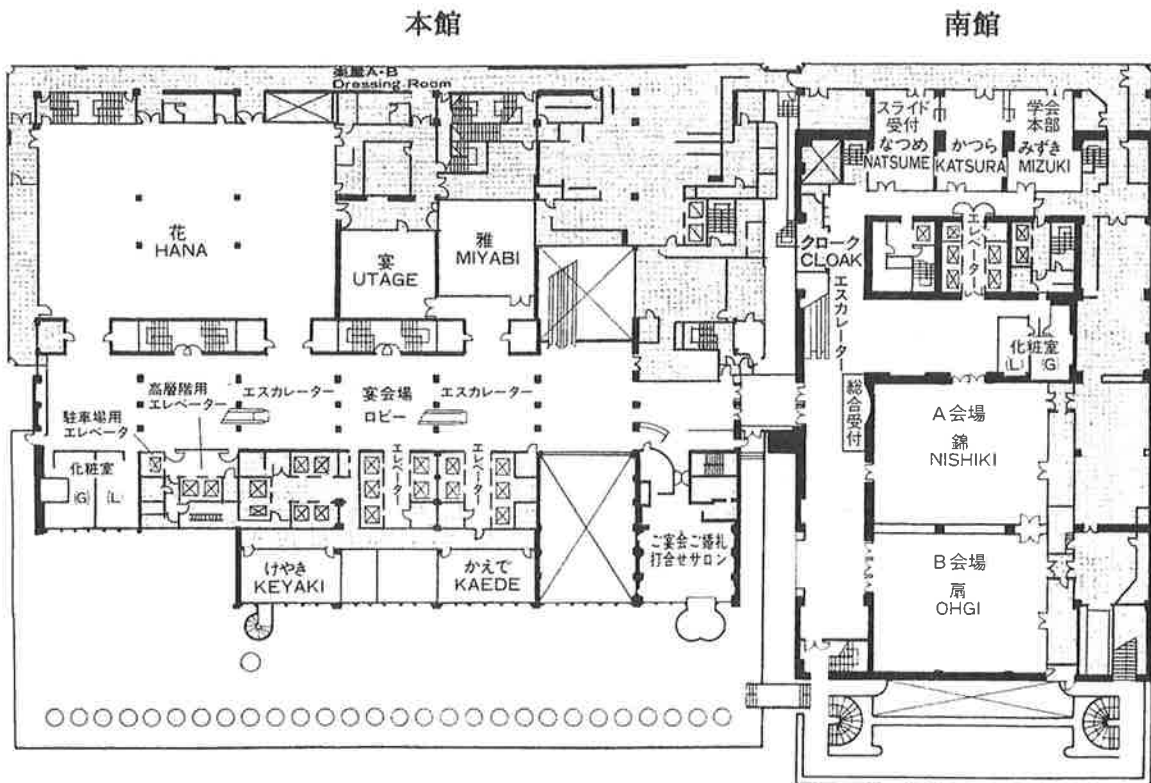
第 10 回日本脳ドック学会総会

会長 齋藤 勇

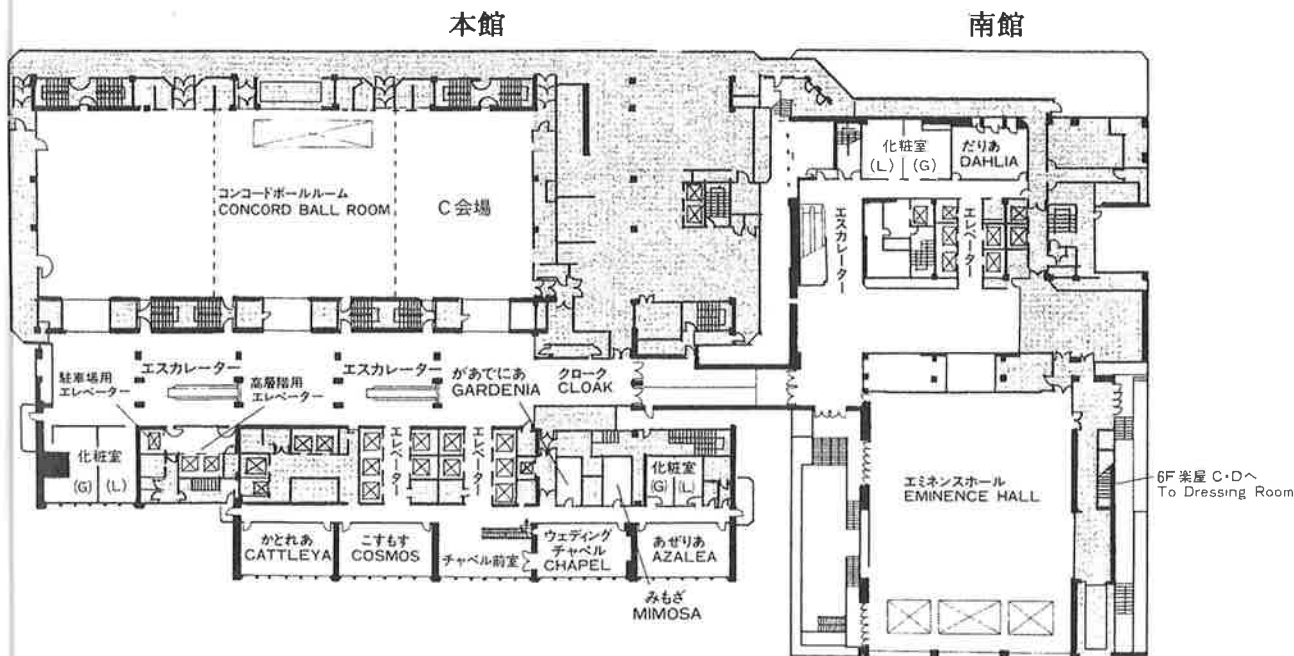
会場のご案内



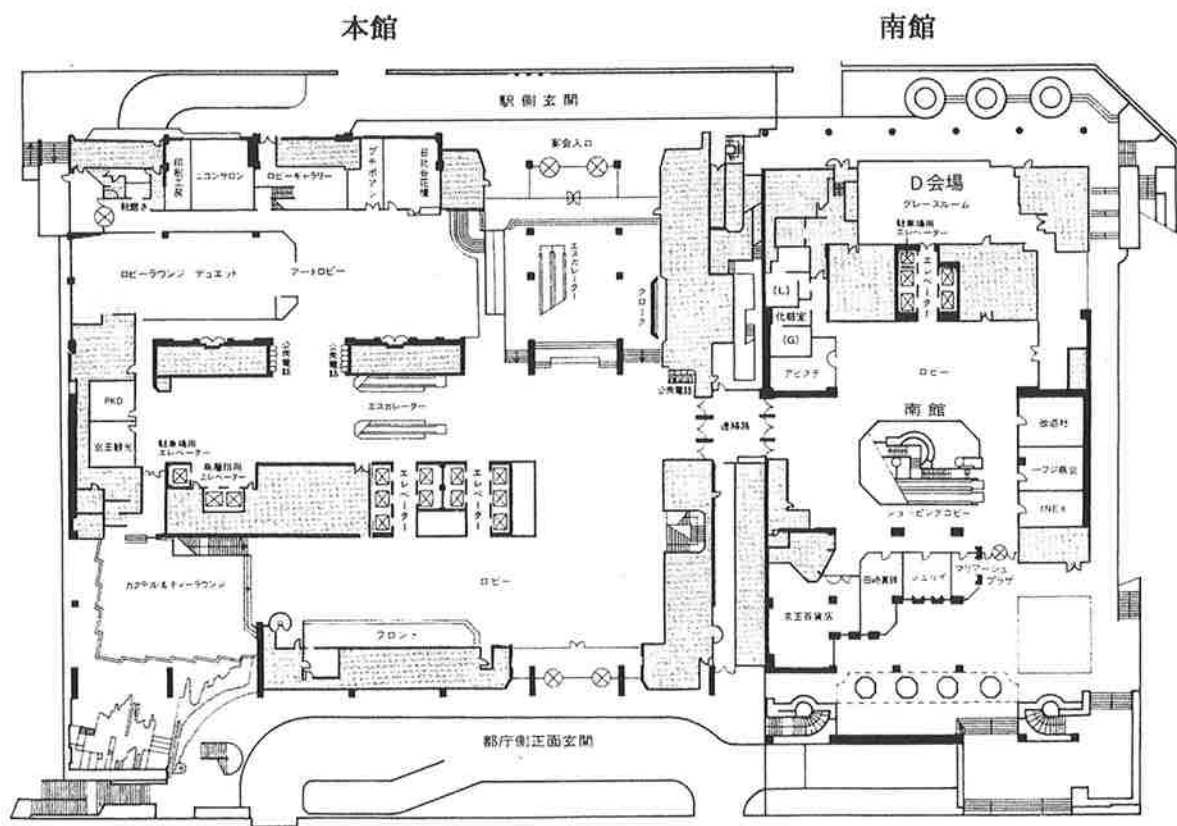
●4F ご案内



●5F ご案内



●3F ご案内



会場案内

- A 会場 「錦」(南館4階)
- B 会場 「扇」(南館4階)
- C 会場 「コンコード」(本館5階)
- D 会場 「グレースルーム」(南館3階)
- 総合受付 「錦」(A会場の隣)
- スライド受付 「なつめ」(南館4階)

ご 案 内

会期 : 平成13年6月22日(金)~23日(土)

会場 : 京王プラザホテル

[A 会場] : シンポジウム(1)(2)(6) 4階「錦」

口演(A1)(A2)(A3)

ランチョンセミナー(A)

議事総会

[B 会場] : シンポジウム(3)(4)(7) 4階「扇」

口演(B1)(B2)

ランチョンセミナー(B)

[C 会場] : シンポジウム(5) 5階「コンコード」

招待講演

特別講演

[D 会場] : 機器展示 3階「グレースルーム」

懇親会

モーニングセミナー

招待講演

6月23日(土) 10:35~11:20 座長 齋藤 勇 (杏林大学 脳神経外科)

「MANAGEMENT OF PATIENTS WITH UNRUPTURED
INTRACRANIAL ANEURYSMS」

Mario Zuccarello, M.D.

Director, Division of Cerebrovascular Surgery

Professor of Neurosurgery; Department of Neurosurgery,

University of Cincinnati, Ohio, USA

特別講演

6月23日(土) 11:20~12:00 座長 端 和夫 (日本脳ドック学会理事長)

「日本人の死生観と脳ドック」

太田富雄 (富永脳神経外科病院)

モーニングセミナー

6月23日(土) 7:45~8:45

D 会場 3階「グレースルーム」 座長 高倉公朋 (東京女子医科大学)

「脳ドックで発見された無症候性疾患に対するガンマナイフ治療」

① 出血発症以外の AVM の臨床徴候とその治療予後について

栗田浩樹 (杏林大学 脳神経外科)

② Gamma Knife radiosurgery for incidentally found brain tumors

山本昌昭 (勝田病院 水戸ガンマハウス)

(協賛:エレクトラ株式会社)

ランチョンセミナー

6月23日(土) 12:10~13:10

A会場 4階「錦」

座長 奥寺利男

(秋田県立脳血管研究センター 放射線科)

「虚血性脳血管障害のMRI診断-最近のトピックス-」

土屋一洋 (杏林大学 放射線科)

(協賛：第一製薬株式会社)

B会場 4階「扇」

座長 高橋 明 (東北大学 神経病態制御学)

「未破裂脳動脈瘤の血管内治療」

① テント上脳動脈瘤について

滝 和郎 (三重大学 脳神経外科)

② テント下脳動脈瘤について

根本 繁 (東京警察病院 脳神経外科)

(協賛：シーメンス旭メディテック株式会社)

機器展示

3階「グレースルーム」

参会受付

1. 参会受付・新入会員は京王プラザホテル南館 4階「錦」A会場の隣にて、
・6月22日(金) 11時～ ・6月23日(土) 8時～
行います。
2. プログラム・抄録集に綴込みの参会者カードに氏名、所属をご記入の上、参会費 10,000円を受付にお渡しください。引き換えに名札(領収書兼用)をお渡しします。名札の無い方の入場はお断り致します。
3. 新入会の受付は総合受付で致します。
4. 外国人留学生は施設長の証明証があれば参会費免除と致します。
5. 別冊のプログラムは作成いたしません。お送りしたプログラム・抄録集は学会期間中各自ご持参下さい。

演題発表

1. シンポジウム

- ・ 口演時間は7分と致します。座長の指示に従って下さい。演者は最前列の座席に着席してください。
- ・ スライドはプラスチック製マウントのみ受け付けます。スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間は厳守して下さい。また、2面映写は同時進行として下さい。スライドプロジェクターは35mm版を各会場2台用意致します。
- ・ スライドは口演予定時刻の1時間前までに、スライド受付(4階「なつめ」)に持参し、試写の上係りにお渡し下さい。

2. 口演

- ・ 口演時間は6分、討論時間は3分です。
- ・ スライドはプラスチック製マウントのみ受付けます。スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間は厳守して下さい。終了1分前に青ランプ、終了時に赤ランプが点滅致します。また、2面映写は同時進行として下さい。スライドプロジェクターは35mm版を各会場2台用意致します。
- ・ スライドは口演予定時刻の1時間前までに、スライド受付(4階「なつめ」)に持参し、試写の上係りにお渡し下さい。

理事会

6月22日(金) 午前11時から4階「なつめ」で行います。理事の先生方はお集まりください。

評議委員会

6月22日(金) 12時から4階「かつら」で行います。評議委員の先生方はお集まりください。

会員懇親会

6月22日(金) 午後6時30分より、3階「グレースルーム」(D会場)で行います。参加費は無料です。

議事総会

6月22日(金) 午後4時からA会場(「錦」4階)で行います。

学会日程表

第1日 6月22日(金)

12:55~

A 会場 [錦 3F]		B 会場 [扇 3F]		D 会場 [グレースルーム 3F]		
12:55	開会の辞			12:55	機 器 展 示	
13:00	シンポジウム1(S1-01~06) 無症候性脳動脈瘤と インフォームドコンセント 座長 河瀬 斌 渡辺一夫	13:00	口演(B1-26~30) 無症候性脳梗塞 座長 松本昌泰			
		13:45	口演(B2-31~34) 頸部頸動脈病変 座長 斉藤孝次			
14:35	口演(A1-07~11) 無症候性脳動脈瘤の治療 座長 坂井 昇	14:25	シンポジウム3(S3-35~39) 脳ドック受診後の ライフスタイルの指導 座長 内山真一郎 吉峰俊樹			
15:20	口演(A2-11~15) 特異な無症候性脳動脈瘤 座長 黒川 泰					
16:00	議事総会					
16:20	口演(A3-16~19) 脳血管奇形・脳腫瘍など 座長 田中隆一	16:20	シンポジウム4(S4-40~48) 脳ドックのあるべき姿を探る 座長 小林祥泰 中川俊男			
16:56	シンポジウム2(S2-20~25) 脳ドックにおける 撮像法の工夫 座長 奥寺利男 田邊純嘉					
				18:30		懇親会

学会日程表

第2日 6月23日(土)

A 会場
[錦 3F]

B 会場
[扇 3F]

C 会場
[コンコード 5F]

D 会場
[グレースルーム3F]

			7:45	モーニングセミナー 脳ドックで見えられた 無症候性疾患に対する ガンマナイフ治療 座長 高倉公明
			8:50	シンポジウム5 (S5-49~55) 無症候性脳動脈瘤の 手術適応は変わったか 座長 橋本信夫 小川 彰
			10:35	招待講演 Mario Zuccarello, M.D. Management of patients with unruptured intracranial aneurysms 座長 齋藤 勇
			11:25	特別講演 太田富雄先生 日本人の死生観 と脳ドック 座長 端 和夫
				機 器 展 示
12:10	ランチョンセミナー(A) 虚血性脳血管障害 のMRI診断-最近 のトピックス- 座長 奥寺利男	12:10	ランチョンセミナー(B) 未破裂脳動脈瘤の 血管内治療 座長 高橋 明	
13:20	口演(A4-56~58) 高次機能 座長 藤原 悟	13:20	シンポジウム7 (S7-64~70) 無症候性脳動脈瘤 の治療 座長 神野哲夫 児玉南海雄	
13:50	シンポジウム6 (S6-59~63) 脳ドック受診者の follow-upと予後 —無症候性脳梗塞 中心に— 座長 篠原幸人 片山泰朗			
15:00	閉会の辞			

第1日
プログラム

第1日 6月22日(金)
A 会場

12:55 開会の辞

齋藤 勇

13:00~14:35 S1-01~06 シンポジウム 1 座長 河瀬 斌(慶応義塾大学)
渡辺一夫((財)脳神経疾患研究所附属
南東北病院)

<無症候性脳動脈瘤とインフォームドコンセント>

I-S1-01	無症候性未破裂脳動脈瘤とインフォームドコンセント	浴和会 老人保健施設 イリオス	福間誠之
I-S1-02	脳ドックで発見された未破裂動脈瘤問題症例の検討と インフォームドコンセント	済生会熊本病院 脳ドックセンター 脳神経外科	藤岡正導
I-S1-03	未破裂脳動脈瘤で手術をすゝめない人への説明 —アンケート結果から—	磯部クリニック	磯部逸夫
I-S1-04	未破裂脳動脈瘤症例における術前心理状態と インフォームドコンセント	函館赤十字病院 脳神経外科	松崎隆幸
I-S1-05	未破裂脳動脈瘤のインフォームドコンセントの重要性と 問題点 —治療する側の立場から—	十和田市立中央病院 脳神経外科	畑中光昭
I-S1-06	無症候性未破裂脳動脈瘤症例におけるインフォームド コンセントツールとしてのCritical Pathの活用	(財)脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院 附属福島医療クリニック 脳神経外科	笹沼仁一

14:35~15:20 A1-07~11

座長 坂井 昇(岐阜大学)

<無症候性脳動脈瘤の治療>

I-A1-07	無症候性脳動脈瘤に対する治療方針	久留米大学 脳神経外科	盛満人之
I-A1-08	無症候性未破裂脳動脈瘤の治療における問題点	岐阜大学 脳神経外科	岩間 亨
I-A1-09	Cerebral blood flow before and after operation in patients with unruptured aneurysm	戸田中央総合病院 脳神経外科	武山英美
I-A1-10	未破裂脳動脈瘤手術症例の検討	福島県立医科大学 脳神経外科	鈴木恭一
I-A1-11	秋田脳研における未破裂脳動脈瘤の手術成績	秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科	師井淳太

15:20~15:56 A2-13~15

座長 黒川 泰(宇部興産中央病院)

<特異な無症候性脳動脈瘤>

-A2-12	脳ドック翌日SAHを生じた一例	黒沢病院 脳神経外科	岡田慶一
-A2-13	予防的クリッピング手術待機中に破裂した中大脳 動脈瘤の一例	脳神経外科聖麗メモリアル病院	河野拓司
-A2-14	緊急再手術が必要となった脳ドックで発見された 未破裂脳動脈瘤の1例	釧路脳神経外科病院	齋藤孝次
-A2-15	無症候性未破裂前交通動脈瘤の3例	鈴鹿中央総合病院 脳神経外科	森川篤憲

16:00~16:20 議事総会

16:20~16:56 A3-16~19

座長 田中隆一(新潟大学)

<脳血管奇形・脳腫瘍など>

1-A3-16	脳ドックで検出された無症候性脳血管奇形の検討	宇部興産中央病院 脳神経外科	黒川 泰
1-A3-17	無症候性脳動静脈奇形に対するガンマナイフの治療成績	古川星陵病院 鈴木二郎記念ガンマハウス	赤羽敦也
1-A3-18	MRI (EPI) にて認められるMicrobleed (MB) の臨床的意義について	市立函館病院 脳神経外科	今泉俊雄
1-A3-19	無症候性髄膜腫におけるperitumoral edemaの診断価値についての検討	大阪大学 脳神経外科	森内秀祐

16:56~18:16 S2-20~25 シンポジウム 2 座長 奥寺利男(秋田県立脳血管センター)

田邊純嘉(札幌医科大学)

<脳ドックにおける撮像法の工夫>

1-S2-20	内頸動脈瘤におけるCTアンジオグラフィー(CTA)の多方向性再構成(MPR) 画像の有用性	大阪市立大学 脳神経外科	土田和幸
1-S2-21	未破裂脳動脈瘤治療における高速回転DSA装置による3次元再構成画像 (cone-beam CT画像) の有用性	河内総合病院 脳神経外科	山中一功
1-S2-22	大動脈弓部脳主幹動脈の心電図同期MR Angiography	岐阜大学 脳神経外科	奥村 歩
1-S2-23	超音波検査による頸部頸動脈狭窄病変の検討 —Real time compound image法 (Sono CT)の有用性—	埼玉脳神経外科病院	松浦 浩
1-S2-24	頸動脈超高度狭窄患者における経口腔頸部血管エコーの有用性	国立病院九州医療センター 脳血管内科	岸川和裕
1-S2-25	超音波造影剤を用いた経頭蓋Color Duplex Sonography (TCDS)による頭蓋内主幹動脈のスクリーニング	京都武田病院 脳神経科学診療科	塩貝敏之

第1日 6月22日(金)
B 会場

13:00~13:45 B1-26~30

座長 松本昌泰(大阪大学 第1内科)

<無症候性脳梗塞>

1-B1-26	脳ドック検診における白質病変と無症候性脳梗塞の危険因子	西宮市立中央病院 脳神経外科	正名好之
1-B1-27	脳梗塞の危険因子としての心房細動	中国労災病院 脳神経外科	山中千恵
1-B1-28	無症候性白質病変とABI, PWVの関係について	浅井病院 内科	池田順一
1-B1-29	健常成人における脳循環自動調節能の加齢性変化と大脳白質病変との関連	島根医科大学 第三内科	飯島献一
1-B1-30	無症候性脳梗塞における梗塞発生部位に基づいた脳血流の検討 — 3次元統計処理画像(3D-SSP)を用いて—	日本医科大学 第2内科	瀬田健博

13:45~14:21 B2-31~34

座長 斉藤孝次((医)釧路脳神経外科病院)

<頸部頸動脈病変>

1-B2-31	頸動脈病変の頸部超音波検査によるスクリーニングと有用性	釧路脳神経外科病院	石崎律子
1-B2-32	糖尿病性大血管障害に対するスクリーニング検査としての頸動脈超音波検査の有用性(第1報)	杏林大学 第三内科	丸山雅弘
1-B2-33	無症候性の内頸動脈閉塞症の特徴	富士脳障害研究所附属病院 脳神経外科	瀬川 弘
1-B2-34	無症候性頸動脈狭窄症に対する頸動脈内膜剥離術(CEA)後の長期成績の検討	富山市民病院 脳神経外科	瀧波賢治

14:25~15:40 S3-35~39 シンポジウム 3 座長 内山真一郎(東京女子医科大学 神経内科)

吉峰俊樹(大阪大学)

<脳ドック受診後のライフスタイルの指導>

1-S3-35	お客様に価値を認めていただけるライフスタイル指導 —脳ドックにおけるCRM続編—	相模原中央病院 脳神経外科	中野次郎
1-S3-36	脳卒中の予防は可能か?—ライフスタイル改善にむけた—MRAによる診断と治療のstrategy—	えびな脳神経クリニック	蛭名国彦
1-S3-37	複数回受診者の健康調査 事後指導の成果について	岐阜県立下呂温泉病院 脳神経外科	北島英臣
1-S3-38	脳健診における生活習慣指導の効果について —指導効果評価の試み—	財団法人関西労働保健協会 附属千里LC健診センター	中川善雄
1-S3-39	脳ドック受診後のライフスタイル改善状況と脳卒中発症状況 —脳ドック再受診者における検討—	広南病院 脳神経外科	長嶺義秀

16:20~18:20 S4-40~48 シンポジウム 4 座長 小林祥泰(島根医科大学)
 中川俊男((医)新さっぽろ脳神経外科病院)

＜脳ドックのあるべき姿を探る＞

1-S4-40	マイナス成長時代の脳ドック	相模原中央病院 脳神経外科	中野次郎
1-S4-41	脳ドックの意義	東京慈恵会医科大学 柏病院 脳神経外科	山口由太郎
1-S4-42	頸動脈エコー検査は脳ドックの必須検査となりうるか	星が浦病院 脳神経外科	鈴木 進
1-S4-43	脳ドックにおいても血小板凝集能検査が重要 —血小板凝集能亢進症の是正で脳循環血流量が改善—	医療法人仁寿会 石川病院 先進画像・医療研究所	藤田稠清
1-S4-44	脳ドック受診健常者におけるWisconsin Card Sorting Testの検討	島根医科大学 第3内科	原田祐子
1-S4-45	家族歴にクモ膜下出血を有する患者に対する検診	横浜新都市脳神経外科病院 脳神経外科	古市 晋
1-S4-46	脳ドックにて発見された未破裂脳動脈瘤のfollow-upと false positiveについて	虎の門病院 脳神経外科	梅津博道
1-S4-47	脳ドックにおける未破裂脳動脈瘤の手術適応と インフォームドコンセント	(財)脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院 脳神経外科	小泉仁一
1-S4-48	脳ドック5年後のMRI画像の変化について	藤枝平成記念病院 健康増進疾病予防センター	平井達夫

完)

太郎
太郎

進
清

子

晋

道

一

夫

第 2 日
プログラム

第2日 6月23日(土)
D 会場

7:45~8:50 モーニングセミナー 座長 高倉公朋(東京女子医科大学)

『脳ドックで発見された無症候性疾患に対するガンマナイフ治療』

- ①出血発症以外のAVMの臨床徴候とその治療予後について
栗田浩樹(杏林大学 脳神経外科)
- ②Gamma Knife radiosurgery for incidentally found brain tumors
山本昌昭(勝田病院 水戸ガンマハウス)

第2日 6月23日(土)
C 会場

8:50~10:30 S5-49~55 シンポジウム 5 座長 橋本信夫(京都大学)
小川 彰(岩手医科大学)

<無症候性脳動脈瘤の手術適応は変わったか>

2-S5-49	大きさではない未破裂動脈瘤の手術適応	りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 脳神経外科	伊藤 守
2-S5-50	未破裂脳動脈瘤手術適応のpitfall	秋葉病院 脳神経外科	秋葉洋一
2-S5-51	未破裂脳動脈瘤の手術適応と治療選択	社会保険広島市民病院 脳神経外科	西野繁樹
2-S5-52	未破裂脳動脈瘤の手術適応と経過観察例の検討	相模原中央病院 脳神経外科	山下晃平
2-S5-53	無症候性未破裂脳動脈瘤の治療適応 —臨床判断分析による検討—	千葉県循環器病センター 脳神経外科	平井伸治
2-S5-54	無症候性脳動脈瘤の治療適応は変わったか	杏林大学 脳神経外科	塩川芳昭
2-S5-55	日本未破裂脳動脈瘤悉皆調査の現況 —UCAS Japan—	UCAS事務局	森田明夫

10:35~11:20 招待講演 座長 齋藤 勇(杏林大学)

Management of patients with unruptured intracranial aneurysms

Mario Zuccarello, M.D.

Chief of Neurosurgery, Department of Veterans Affairs, Medical Center,
Director, Division of Cerebrovascular Surgery, Professor of Neurosurgery;
Cincinnati, Ohio, USA

11:20~12:00 特別講演 座長 端 和夫(日本脳ドック学会理事長)

日本人の死生観と脳ドック

太田富雄(富永脳神経外科病院)

第2日 6月23日(土)
A 会場

12:10~13:10 ランチョンセミナー(A) 座長 奥寺利男
(秋田県立脳血管障害センター 放射線科)
『虚血性脳血管障害のMRI診断-最近のトピックス-』

土屋一洋(杏林大学 放射線科)

13:20~13:47 A4-56~58 座長 藤原 悟((財)広南会 広南病院)
<高次機能>

- | | | | |
|---------|--|------------------------|------|
| 2-A4-56 | 無症候性脳梗塞と神経心理検査および気分状態との関係
- POMS を用いた検討 - | 上智大学大学院 文学研究科
心理学専攻 | 足立耕平 |
| 2-A4-57 | 脳波解析によるアルツハイマー病早期診断法DIMENSION | 株式会社脳機能研究所 | 武者利光 |
| 2-A4-58 | 塩酸ドネペジルによるアルツハイマー病治療成績 &
もの忘れドック開設 | 倉本内科病院 | 笠間 睦 |

13:50~15:00 S6-59~63 シンポジウム 6 座長 篠原幸人(東海大学 神経内科)
片山泰朗(日本医科大学 第2内科)
<脳ドック受診者のfollow-upと予後 —無症候性脳梗塞を中心に—>

- | | | | |
|---------|--|----------------------------|------|
| 2-S6-59 | 無症候性脳梗塞と健康危険度予測(疾病発症の予知・
予測)についての検討 | 日本赤十字社
熊本健康管理センター | 福島正昭 |
| 2-S6-60 | 当院脳ドック複数回受診者の脳卒中危険因子改善の
程度について | 聖隷浜松病院 脳神経外科
聖隷健康診断センター | 赤嶺壮一 |
| 2-S6-61 | 症候性脳血管障害の発症予測における無症候性脳梗塞の
意義 | 東海大学 神経内科 | 高橋若生 |
| 2-S6-62 | LOGISTIC解析の結果からみた、無症候性脳梗塞
の予後増悪因子について | 日本医科大学 第2内科 | 永積 惇 |
| 2-S6-63 | 脳ドック受診者における脳卒中発症調査(第8報) | 島根医科大学 第三内科 | 山下一也 |

15:00 閉会の辞

齋藤 勇

第2日 6月23日(土)
B 会場

12:10~13:10 ランチョンセミナー(B) 座長 高橋 明(東北大学 神経病態制御学)
『未破裂脳動脈瘤の血管内治療』

- ①テント上脳動脈瘤について
滝 和郎(三重大学 脳神経外科)
- ②テント下脳動脈瘤について
根本 繁(東京警察病院 脳神経外科)

13:20~14:55 S7-64~70 シンポジウム 7 座長 児玉南海雄(福島県立医科大学)
神野哲夫 (藤田保健衛生大学)

<無症候性脳動脈瘤の治療>

2-S7-64	Glycerol負荷脳血流量測定による無症候性未破裂脳動脈瘤治療の予後判定	東松山市立市民病院 脳神経外科	竹内東太郎
2-S7-65	無症候性未破裂脳動脈瘤の治療成績と予後不良因子の検討	大阪大学 脳神経外科	中島義和
2-S7-66	無症候性未破裂脳動脈瘤の治療	藤田保健衛生大学 脳神経外科	加藤庸子
2-S7-67	未破裂中大脳動脈瘤の治療— —動脈瘤の特殊性と手術手技の工夫—	島根県立中央病院 脳神経外科	井川房夫
2-S7-68	対側からのアプローチによる内頸動脈瘤— —眼動脈瘤の手術—	医療法人青樹会 一之瀬脳神経外科病院	一之瀬良樹
2-S7-69	未破裂脳動脈瘤に対するwrappingの功罪	青森県立中央病院 脳神経外科	梅澤邦彦
2-S7-70	無症候性未破裂脳動脈瘤に対する血管内治療— —当施設における中間報告—	香川医科大学 脳神経外科	入江恵子